

## 令和 6 年能登半島地震被災地における支援活動について

2024.5.28 / 広島県社協

## 1 被災状況

令和 6 年元日、能登地方（珠洲市）を震源地とする地震（震度 7）により、中・奥能登を中心に死者 244 人、揺れや土砂、津波による家屋の全半壊、火災による市街地の消失、道路等のインフラの喪失など甚大な被害が発生した。

また、半島特有の交通事情に加え、道路損壊による交通事情から被災地へのアクセスがさらに悪化しており、道路の復旧もなかなか進んでおらず、金沢市から奥能登までの移動は、相当の時間を要している。

## 2 現地社協ボランティアセンター等への応援職員派遣

## ① 支援 P からの協力依頼（珠洲市社協）

中国ブロック応援職員派遣につなぐ先遣チームとして、珠洲市社協災害 V.C の立ちあげ支援（+緊急的生活支援、法人運営支援）のために、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援 P）が全社協と調整後、本会に応援職員の派遣協力依頼があり、次の体制（1クール6泊7日実働5日）で派遣協力した。

クール	派遣期間	派遣人数
第 1 クール	令和 6 年 1 月 16 日～1 月 22 日	2 人 / 県社協 (1)、市町社協 (1)
第 2 クール	1 月 20 日～1 月 26 日	2 人 / 県社協 (1)、市町社協 (1)
第 3 クール	※降雪による天候不順予報のため中止	—

## ② -1 中国ブロック幹事社協 (R5 広島市、R6 岡山市) を通じた協力依頼（穴水町社協、能登町社協）

穴水町及び能登町社協災害 V.C の運営支援のために、幹事社協から本会に応援職員の派遣協力依頼があり、次の体制（1クール6泊7日実働5日）で派遣協力した。ボランティアの増員が見込まれるゴールデンウィーク中を強化期間として応援職員を増員して対応したが、想定ほど集まらず、累積するニーズに対応しきれていないことから 6 月も継続支援を予定しており、7 月以降も継続の可能性はある。

災害 V.C の業務内容：ボランティア活動者の受付、ニーズの受付及び現地調査、マッチング  
ボランティア活動の内容：家屋内外の片付けや廃棄物の搬出などが中心

## &lt;穴水町&gt;

クール	派遣期間	派遣人数
第 2 クール	令和 6 年 2 月 6 日～2 月 12 日	2 人 / 市町社協 (2)
第 9 クール	3 月 5 日～3 月 11 日 (※支援先が能登町へ変更)	2 人 / 県社協 (1)、市町社協 (1)

## &lt;能登町&gt;

クール	派遣期間	派遣人数
第 2 クール	令和 6 年 2 月 16 日～2 月 22 日	2 人 / 県社協 (1)、市町社協 (1)

第9クール	3月15日～3月21日	4人／県社協(2)、市町社協(2)
第16クール	3月31日～4月6日	2人／県社協(1)、市町社協(1)
第18クール	4月8日～4月14日	2人／県社協(1)、市町社協(1)
第20クール	4月16日～4月22日	2人／県社協(1)、市町社協(1)
第22クール	令和6年4月22日～4月30日	2人／県社協(1)、市町社協(1)
第24クール	5月2日～5月8日	2人／県社協(2)
第26クール	5月10日～5月16日	2人／県社協(1)、市町社協(1)
第29クール	5月22日～5月28日	2人／県社協(1)、市町社協(1)
第31クール	5月30日～6月5日	2人／県社協(1)、市町社協(1)
第35クール	6月15日～6月21日	2人／県社協(1)、市町社協(1)
第38クール	6月27日～7月3日	2人／県社協(1)、市町社協(1)

※第22クールから第24クールは、中国ブロックからの派遣を8人に増員し支援した。

## ②-2 中国ブロック幹事社協（広島市）を通じた協力依頼（災害特例貸付）

中国ブロック県・政令市社協は、奥能登の4市町社協での災害特例貸付窓口の開設準備及び運営を担当することになった。本会は、岡山県・岡山市・山口県各社協（各1人）と共に輪島市社協を担当し、同市町野町で避難所での周知、個別相談に応じた。活動体制（6泊7日 実働5日）は、次のとおり。

派遣期間	派遣人数	相談件数	申請件数
令和6年1月29日～2月4日	1人／県社協	50件	34件

## 3 広島DWATの派遣

### ○中央センターからの派遣依頼

災害福祉支援ネットワーク中央センター（全社協）から広島県を通じて、次のとおり初の広島DWATの派遣調整及び派遣決定（予定含む）があった。

<派遣先>金沢市内の1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）

<日数>1クール6泊7日 実働5日

クール	派遣期間	派遣人数
第1クール	令和6年1月31日～2月6日	3人
第2クール	2月4日～2月10日	3人
第3クール	2月8日～2月14日	3人
第4クール	2月12日～2月17日	3人
第5クール	2月29日～3月6日	3人
第6クール	3月4日～3月10日	3人
第7クール	3月8日～3月14日	3人

DWAT：大規模災害時に、避難者の生活機能の低下や要介護度の重度化などの二次被害防止のため、要配慮者(高齢者,障害者,子ども等)に対する福祉支援にあたる福祉専門職チーム

# 令和6年能登半島地震 全国社協応援派遣の今後の見込み

## 【6月末まで】

### ○県域全体の外部支援体制の方針（令和6年5月14日時点）

- ・珠洲市、輪島市、能登町、七尾市については、いまだニーズが多い状況であり、GWの体制に近い状況を継続。能登町、七尾市については6月末で外部支援については一定の目途をつける。
- ・志賀町は6月からの週末型移行を予定。ただしニーズ残数も多く平日も現地調査等の業務が発生することから、帯での支援を継続
- ・穴水町については、5月中旬から週末型へ移行し、県内社協応援により支援

北海道・東北	4名
関東A	8名
関東B	6名
東海・北陸	11名
近畿	12名
中国	4名
四国	4名
九州	9名
計	58名

#### 【珠洲市】（本所1か所で実施）

- 全壊・半壊家屋が多く、いまだ広域避難者も多数。ほとんどの家屋が未だ断水
- 仮設住宅の設置はまだ十分でなく7月末までかかる見込み
- ★避難者が地域に戻るのに時間を要することから夏頃まで継続的な支援が必要〈ブロック派遣〉※現状維持
- ・東海・北陸4名+九州9名+四国4名 →17名

#### 【輪島市】（本所1+サテライト2か所）

- 全壊・半壊家屋が多く、いまだ2次避難者も多数。
- 仮設住宅の設置はまだ十分でなく7月末までかかる見込み
- ★避難者が地域に戻るのに時間を要することから夏頃まで継続的な支援が必要〈ブロック派遣〉※減
- ・東海・北陸5名+関東A8名 →13名

#### 【志賀町】（1か所で実施）

- ローラーを重点的に実施〈ブロック派遣〉※減
- ・北海道・東北4名

珠洲市

輪島市

能登町

穴水町

志賀町

七尾市

#### 【能登町】（本所1+サテライト2か所）

- 一部損壊率が高く、Voニーズが非常に多い〈ブロック派遣〉※減
- ・東海・北陸2名+中国4名+関東B6名 →12名

#### 【穴水町】（本所1）

〈ブロック派遣〉終了

#### 【七尾市】（本所1か所で実施）

- 域内で人口が最も多く、一部損壊率も高いため、ニーズ数が非常に多い。ローラーを重点的に実施
- 〈ブロック派遣〉※現状維持
- ・近畿12名

ガレキや家財の片づけ、運び出し作業



ボランティアの出迎え、見送り



スタッフのミーティング



ボランティアのマッチング



※ 能登町社協ボランティアセンターのフェイスブックから、承諾を得て使用しています